

「道徳の時間」学習活動指導案

- (1) 主題名 きちんと伝える、正しく伝える
 (2) 資料名 だれのためのプロフィール (自作)
 (3) ねらい

- ①新しい集団に所属する際の礼儀や自己紹介のあり方や意義に気付くことができる。
 ②人間尊重の立場から新しい仲間を受け入れたり、理解したりしようとする心情を高める。

(4) 展開の概要

	学習活動	教師支援・ねらいに迫る手立て	生徒の反応
導入 8分	1 4人程度の班で転校する仲間のプロフィールを作成する。 2 他の班の書き込みの内容と話合いの様子を知る。	1 タブレット端末を用いて作成する(架空の転校生とし、顔写真は担任教師等とする)。 2 班ごとに何を書いたか、だれがどんな提案をしたか、報告するよう指示する。	・おもしろそう、何を載せようかな ・操作の習熟度に差があるな ・どこまで許されるかな ・このこと自体許されるのだろうか
展開 32分	3 資料の内容を知る。 4 学習課題を知る。	3 資料を範読する。 4 学習課題を板書する。	・こういう事例もあるのだな
	課題 自己紹介にはどんな意味があるのかを考えよう		・転校生ってどんな気持ちだろう、実はどうだろう
	5 あらすじを確認する。 6 発問について考える。	5 資料の登場人物と内容を全員で確認する。 6 発問をする。	・なぜ転校生の名前が変わったのかな ・自分をきちんと知ってもらいたいな
	発問 なぜプロフィールカードが必要なのだろうか		・小さな紙だけれど、わたし側ももらう側も真剣だ
	発問 なぜ名刺を両手でいただくのだろうか		・してはいけないことをしている、失礼、相手の気持ちを考えていない、相手をきちんと受け入れようとしていない
		・「礼儀」に関わる発言を取り上げ、色チョークで線を引く	
終末 10分	7 教師の説話を聞く 8 ワークシートに記入する	7 仲間理解において人間尊重の精神を欠かした例を語る 8 黒板を参考に、黙って記	・単なる紙だがカードや名刺は相手をきちんと知る入口だ ・問題点を、自分なりに文章

		入るように指示する	でまとめてみよう
--	--	-----------	----------

(5) 評価

- ①新しい仲間に出会う前から、その人の情報を興味本位で交換することの問題点を、礼儀の面から理解することができたか。(活動6, 7から)
- ②自己紹介の意義を理解するとともに、するときもされるときもそれを大切にしていこうとする心情が高まったか。(活動6, 7から)